

<利用者アンケート入力画面②>

次世代育成事業評価 - [アンケート入力]

モード: 編集上書 ID: 14 年度: 2007 年度 (西暦4桁で入力してください)

Ⅱ このアンケートに回答して下さる方について伺います。あてはまるものに○をお付けください。

1. このアンケートに回答した方は？お子さん対象の事業やサービスの場合は、お子さんから見た関係をお答えください(ひとつだけ○)
1 母親 2 父親 3 祖父母 4 子ども自身 5 地域の方 6 その他()
回答: 5

2. 近くに籍外に出来る親族(祖父母等)はいらっしゃいますか(ひとつだけ○)
1 同居している 2 同居していないが近隣にいる 3 いない
回答: 2

3. 近所に相談などができる友人・知人はいらっしゃいますか(ひとつだけ○)
1 いる 2 いない
回答: 2

4. ここまでの主な交通機関は何ですか(ひとつだけ○)
1 徒歩または自転車 2 自家用車 3 電車またはバス 4 その他()
回答: 2

5. 本日こちらを利用された時間帯を教えてください。
回答: 10 時 0 分ごろ から 11 時 0 分ごろ まで

6. こちらを利用する回数はどのくらいですか(ひとつだけ○)
1 今回のはじめて 2 週6回以上 3 週4~5回 4 週2~3回 5 週1回 6 月2回 7 月1回
8 3ヶ月に1回 9 半年に1回 10 年に1回程度
回答: 3

7. この事業・サービスについてどこでお知りになりましたか【複数回答】(あてはまるものすべてにチェックを入れてください)
回答: 1 広報いたみ 2 ちらし・パンフレット 3 新聞・雑誌 4 ケーブルテレビ 5 テレビ 6 ラジオ

OK キャンセル

< 庁内評価入力画面① >

データ作成日: _____

次世代育成支援事業評価シート

事業コード: 230802 事業名: 子育て支援センター事業

【入力・編集】ボタンをクリックし、各項目の入力を行ってください。

事務事業評価シート部分 入力済のシートより抜粋、入力不要 レビュー

事業概要等 未入力 残り12項目 入力・編集 レビュー

評価 未入力 事業概要等の入力 X

記入者氏名: _____

事業区分: ソト事業

会計区分: 一般

新規継続区分: 継続

事業内容: ・子育て支援講座事業・・・親子
・子育てサークル支援事業・・・
する。
・子育て支援情報の提供・・・子
④その他

法的拘束力: _____

根拠法令・計画等: 伊丹市次世代育成支援行動計
子育て中の保護者に、子育ての
を通じて子育て中の親子を支援

事業の目的: _____

各項目を入力、または選択し、「書き込み」ボタンをクリックしてください。

計画記載ページ: _____

基本目標: _____

施策の方向性: _____

事業体系: _____
 子ども 家庭 地域 その他

ライフステージ: _____
 赤ちゃん期 幼児期 学齢期 青少年期 その他

次世代育成支援における事業コード: 無い場合は空白にしてください。

対象指標(事業の対象): _____

事業実施前の現状: _____

各年度の事業費等(H17・18)

		H17年 (決算)	H18年 (決算)	H19年 (決算)
財源構成	事業費(A)	-	-	-
	国・県	-	-	-
	起債	-	-	-
	その他 (借入金・手数料費)	-	-	-
一般財源	-	-	-	
投入人員		-	-	-
人件費(B)		-	-	-
経費(A)+(B)		-	-	-

計画と実績値	活動指標名(単位)	年間参加者数(人)			活動指標の意味(式等)	10月1日支援センターの主催講座の年間の参加者数(人)				指標の性質	①実績値は計画値を上回る方がよい	
		計画値	実績値	実績値		7,114	7,432	7,432	7,432			7,432
	計画値	-	-	320.00	-	450.00	600.00	600.00	610.00	610.00	↑	
	実績値	-	-	445.00	-	593.00						

改善計画と反省点	年度	改善計画	左記の改善計画に対する実績・反省点
	17	子育てサポーター講座の中高生版を夏休み期間中に開催し、更に幅広い層の子育て支援事業への参加を促す。	84名の参加者を得、計画どおりの成果を得た。
	18	開催回数が増やすことなどにより、子育てサポーター養成講座の充実を図る	計画どおりの成果を得た
	19	講座の内容の充実を図り、ひろば事業等において子育てサポーターとして一人でも多く活動していただけるよう取り組む	

< 庁内評価入力画面② >

データ作成日: _____

次世代育成支援事業評価シート

事業コード: 230802 事業名: 子育て支援センター事業

【入力・編集】ボタンをクリックし、各項目の入力を行ってください。

事務事業評価シ... 評価入力

事業概要等

評価

次世代育成支援事業評価 DB

各項目を5段階で評価し、画面最下部の【書き込み】ボタンをクリックしてください。

4以上の評価をした項目については、その理由を記入する欄が表示されます。50字以内で入力してください。

【愛あいプランにおける基本目標への貢献度】

	あてはまる			あてはまらない	
	5	4	3	2	1
1 この事業は、本計画の基本理念「子ども・家庭・地域 共に育ちあふ 伊丹」に貢献している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
※ 愛あいプランにおける基本理念をさします。					
2 この事業は、基本目標に貢献している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
※ 愛あいプランにおける7つの基本目標のうち、本事業の上位概念にあたるものについてお答えください。					
3 この事業は、施策の方向性に貢献している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
※ 基本目標の下にある施策の方向性についてお答えください。					

< 目標達成妥当性 >

	あてはまる			あてはまらない	
	5	4	3	2	1
1 事業推進にあたり、推進の体制を課内に明示している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 事業推進にあたり、職員の仕事の役割分担を課内に明示している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

選択数: 0 0 1 0 0

書き込み キャンセル

事業費(A)
 国・県
 起債
 その他
 (補助金・委託費)
 一般財源

投入人員

人件費(B)

経費(A)+(B)

補助金等(別付)

< インポートボタン >

Accessのメニューバー・ツールバー表示

次世代育成支援事業評価 DB

アンケート配布数・回数入力 アンケート回数等宣言のための情報を入力します。

アンケート入力 収集したアンケートをデータベースに入力します。

庁内評価インポート 所管評価のエクセルファイルからデータを読み込みます。

次世代育成支援事業評価

2007年の事業別レポートをフォルダ「2007年レポート*事業別」の中に作成します。処理中はキーボード・マウスに触れないようにしてください。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

レポート出力 分類別 エクセルのファイルが、事業+種別(保育、講座、広場)ごとく作成されます。

レポート出力 全体 エクセルのファイルが、ひとつだけ作成されます。

終了

Version1
Program Update: 2008/01/27

※<事業別レポート>のデータは全てあくまでも1サンプルであり、無断での使用を禁止する。

<事業別レポート>

データ作成日:		2008年1月7日									
次世代育成支援事業評価シート											
事業コード:	230802	事業名:	子育て支援センター事業								
記入者氏名:											
事業区分:	ソフト事業	事業開始年度:	平成14年度								
会計区分:	一般	事業終了予定年度:									
新規継続区分:	継続	担当部局:	こども部								
		担当者:	子育て支援課								
		責任者氏名:									
		連絡先(内線):	2666								
事業内容:	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援講座事業・・・親子で楽しみながら学んだり、子育てに役立つ情報を得られる講座を開催する ・子育てサークル支援事業・・・子育てサークルが実施する講習会の講師謝礼の一部助成を行い、楽しい子育ての機会づくりを支援する。 ・子育て支援情報の提供・・・子育てだよりの発行やホームページ等による情報提供 										
法的拘束力:	④その他	事業主体:	③市								
事業実施形態:	①直営										
根拠法令・計画等:	伊丹市次世代育成支援行動計画	財政健全化対象事業:	②非該当								
事業の目的:	子育て中の保護者に、子育ての楽しさを感じたり、役立つ情報を得られる機会を提供する。また、地域の子育てサークル活動の支援を通じて子育て中の親子を支援する。										
各年度の事業費等(H17・18は決算額、H19は当初予算額、以後は見込額) (単位:千円・人)											
		後期事業実施計画									
			H17年度 (決算)	計	H18年度 (決算)	H19年度 (当初予算)	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度以降	計 (H18~22)
								※後期事業実施計画対象のみ記入			
事業費(A)		-	-		4,957	5,232	5,232	5,232	5,232		25,885
財源構成	国・県	-	-								
	起債	-	-								
	その他 (使用料・手数料等)	-	-								
	一般財源	-	-		4,957	5,232	5,232	5,232	5,232	5,232	25,885
投入人員		-	-		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25		1.25
人件費(B)		-	-		2,157	2,200	2,200	2,200	2,200		10,955
経費(A)+(B)		-	-		7,114	7,432	7,432	7,432	7,432		36,840
活動指標名(単位)		年間参加者数(人)		活動指標の意味(式等)		子育て支援センターの主催講座の年間の参加者数合計		指標の性質		①実績値は計画値を上回る方が良い	
計画と実績値	計画値	-	-	320.00	-	450.00	600.00	600.00	610.00	610.00	↑
	実績値	-	-	445.00	-	593.00					
改善計画と反省点		年度	改善計画				左記の改善計画に対する実績・反省点				
		17	子育てサポーター講座の中高生版を夏休み期間中に開催し、更に幅広い層の子育て支援事業への参加を促す。				84名の参加者を得、計画どおりの成果を得た。				
		18	開催回数の増やすことなどにより、子育てサポーター養成講座の充実を図る				計画どおりの成果を得た				
		19	講座の内容の充実を図り、ひろば事業等において子育てサポーターとして一人でも多く活動していただけるよう取り組む								
		20									
		21									
事業が抱える課題		各地域にひろば事業を広めるためには子育てサポーターとしての人材が必要で、このため子育てサポーター養成講座の受講者をいかに実際の活動に繋げられるか。									
現行のスタッフで当該事業を継続していく上での課題		①人員配置の見直しを図る									

計画記載ページ:	p38			
基本目標:	4. 子育ての夢と希望を育む事業の整備			
施策の方向性:	⑥充実した家庭生活を送るため親の学習機会の充実と親の協働			
事業体系:	家庭	ライフステージ:	幼児期	次世代育成支援における事業コード: 4601
対象指標(事業の対象):	利用者数			
事業実施前の現状:	育児に関する悩みや相談ができない。地域と人との交流の希薄化。子育ての孤立化や虐待件数の増加。			
事業の概要:	対象年齢別の子育て講座や父親との料理講座、子育てグループ相談等、各種子育て講座を開催する。参加者のニーズを把握し、内容を工夫しながら、親子が交流できるセミナーや父親参加のセミナーなどを開催していく。			
成果指標名(単位):	設置カ所数	成果指標の意味(式等):	中学校区に1カ所	
情報提供の手法:	HP、広報紙、電話、おたより・DM			
愛あいプランの特定事業の数値目標(平成21まで):	2カ所	今後の方向性:	充実	

【愛あいプランにおける基本目標への貢献度】

	評価	得点
1 この事業は本計画の基本理念「子ども・家庭・地域 共に育ちあう 伊丹」に貢献している	4	2.05
2 この事業は、基本目標に貢献している	4	2.05
3 この事業は、施策の方向性に貢献している	4	2.05
		6.15

<目標達成妥当性>

	評価	得点
1 事業推進にあたり、推進の体制を課内に明示している	4	0.77
2 事業推進にあたり、職員の仕事の役割分担を課内に明示している	4	0.77
3 事業推進にあたり、活動の内容を課内に明示している	4	0.77
4 事業推進にあたり、短期的(1ヶ月～3ヶ月ごと)に進捗状況を見直しをしながら取り組んでいる	5	0.96
5 事業推進にあたり、過去や外部の成功例・失敗例を参考にしながら取り組みを行っている	4	0.77
6 課題の明確化、事業計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	5	0.96
7 課題の明確化、事業計画の作成にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	5	0.96
8 目標達成率	90%	0.77
		6.73

<妥当性>

	評価	得点
1 事業計画は、サービスの現状(利用者意向、ニーズ、事業環境など)をふまえて作成されている	5	1.54
2 事業計画を想定されるリスク(利用者への影響、職員の業務負担、必要経費の増大など)をふまえて策定されている	5	1.54
3 事業の実施手段が目的に対して妥当である	5	1.54
4 提供されているサービスが量的に適切である	4	1.23
5 提供されているサービスが質的に適切である	4	1.23
		7.08

<透明性>

	評価	得点
1 市民の目に触れやすい方法(ちらしやパンフレット等)で地域社会に本事業の情報を開示している	4	2.05
2 外部(市民等)との関わりを通して開かれた組織作りへの取り組みを実施している	3	1.54
3 予算・決算の状況を情報公開している	4	2.05
		5.64

<公平性>

	評価	得点
1 受益者負担は適正である	3	4.62
		4.62

<必要性>

	評価	得点
1 市民ニーズの高い事業である	3	0.92
2 事業を廃止・休止した場合市民生活に与える影響が大きい	3	0.92
3 県や国ではなく市が実施すべき事業である	4	1.23
4 民間への委託やアウトソーシングが難しい事業である	3	0.92
5 他の事業よりも優先度が高い	3	0.92
		4.92

<効率性>		評価	得点
1	事業は効率的に進められている	5	2.56
2	(前年度の効果/今年度の効果)/(前年度の決算額/今年度の決算額)=〇 1.1以上が5 0.9~1.1が3 0.9以下1	3	1.54
3	成果を落とさずにコストを削減できる	3	1.54
			5.64
<事業の再編可能性>		評価	得点
1	類似又は関連する事業がある	3	2.31
2	他の事業との再編の可能性はある	2	1.54
			3.85
<連携>		評価	得点
1	本事業に関して必要な各課との連携が取れている	3	1.54
2	本事業に関して必要な各機関との連携が取れている	3	1.54
3	本事業に関する共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	3	1.54
			4.62
<市民・利用者等との関連>		評価	得点
1	事業の対象者の満足度向上に貢献している	4	1.23
2	事業推進に市民が参画している	3	0.92
3	本事業は次世代育成支援に関する市民の意識醸成に寄与している	3	0.92
4	本事業は利用者・参加者の要望を取り入れた事業展開を行っている	4	1.23
5	本事業が目指していることについて市民の理解が深まるような取り組みを行っている	4	1.23
			5.54
<職員の取組状況>		評価	得点
1	基本理念を職員に浸透させる取り組みがなされている	4	1.03
2	職員はこの事業の目的(何のためにあるのか)を周知している	4	1.03
3	本事業に関わるニーズの収集(地域での聞き取り、利用者アンケート、地域懇談会等)に取り組んでいる	3	0.77
4	今後のあり方の参考となるように、ニーズの動向を分析・整理している	5	1.28
5	誰が対応しても(担当者が変わっても)同じサービスを提供できる仕組みである	4	1.03
6	関係職員が本事業の理念・目標・重要性を認識している	5	1.28
			6.41
<職員の対応>		評価	得点
1	職員の利用者への対応は適切である	5	0.64
2	市民へサービスや事業内容について情報を解りやすく伝えている	4	0.51
3	利用・参加しやすい費用設定である(担当課で設定できない場合は「9」と入力)	3	0.38
4	利用者・参加者が過ごしやすい環境・雰囲気作り(人員配置、職員の配慮等)を行っている	3	0.38
5	利用者等から寄せられた要望・苦情・意見を上司(課長以上)に届けフィードバックや改善に結びつけるための体制がある	4	0.51
6	事業の利用に関してトラブル等が発生した場合、迅速かつ適切な対応が取れるように、基本方針や対応マニュアルがある	3	0.38
7	利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	4	0.51
8	利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	3	0.38
9	業務遂行にあたって収集した情報は、必要な人が必要な時に活用できるように整理・保管している	4	0.51
10	保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	4	0.51
11	情報開示を求められた際の対応方法を明示している	3	0.38
12	個人情報の保護について職員が理解し、行動できるための取り組みを行っている	4	0.51
			5.64
<系列/各事業独自項目>		評価	得点
1	関係職員からみて、本事業は子育ての仲間づくりに役立っている	3	0.58
2	関係職員からみて、本事業は子どもの遊び仲間づくりに役立っている	3	0.58
3	関係職員からみて、本事業は利用・参加しやすい雰囲気である	4	0.77
4	関係職員からみて、本事業は利用者・参加者の満足を得るものである	4	0.77
5	関係職員からみて、本事業は次世代育成支援(安心して子どもを産み育てる環境作り)に役立っている	4	0.77
6	関係職員からみて、本事業は子どもの「子育て」と家庭の「子育て」を支える地域を育むのに役立っている	3	0.58
7	(広場)各事業独自項目	3	0.58
8	(広場)各事業独自項目	3	0.58
			5.19

総合得点

72

◆◆◆4または5と評価した理由◆◆◆

【愛あいプランにおける基本目標への貢献度】

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 多くの参加者を得ていることから、貢献している |
| 2 | 多くの参加者を得ていることから、貢献している |
| 3 | 多くの参加者を得ていることから、貢献している |

<目標達成妥当性>

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 課内会議等による |
| 2 | 課内会議等による |
| 3 | 課内会議等による |
| 4 | 年度計画に基づき、見直しをしながら取り組んでいる |
| 5 | 講座のテーマ設定等に工夫をしている |
| 6 | 年度計画をあらかじめ決めている |
| 7 | している |

<妥当性>

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | ふまえて作成している |
| 2 | 業務負担・必要経費等、ふまえて作成している |
| 3 | 多くの参加者を得ている状況からして |
| 4 | 業務負担、必要経費、参加者数等からして |
| 5 | 好評を得た講座等の提供等による |

<透明性>

- | | |
|---|------------|
| 1 | ちらし等の配布による |
| 2 | |
| 3 | 行政評価による |

<公平性>

- | | |
|---|--|
| 1 | |
|---|--|

<必要性>

- | | |
|---|-------------|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | より身近な自治体として |
| 4 | |
| 5 | |

<効率性>

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 効率的に進めている |
| 2 | |
| 3 | |

<事業の再編可能性>

- | | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |

<連携>

- | | |
|---|--|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |

<市民・利用者等との関連>

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 多くの参加者を得て、貢献している |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | テーマの設定等において取り入れている |
| 5 | 子育てに関する各事業実施であることからして |

<職員の取組状況>

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 日々の研修による |
| 2 | 講座等の場において周知している |
| 3 | |
| 4 | している |
| 5 | 同じサービスを提供できる体制である |
| 6 | 認識している |

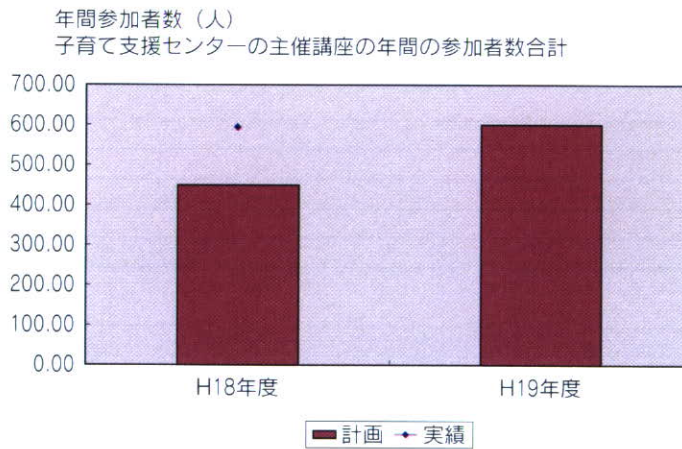
<職員の対応>

1	適切である
2	市広報紙等を通じて伝えている
3	
4	
5	ある
6	
7	利用者アンケート等の実施
8	
9	整理・保管している
10	更新している
11	
12	日々の研修による

<系列/各事業独自項目>

1	
2	
3	参加しやすい雰囲気である
4	得られるような内容設定に努めている
5	役立つことを願って開催していることから
6	
7	
8	

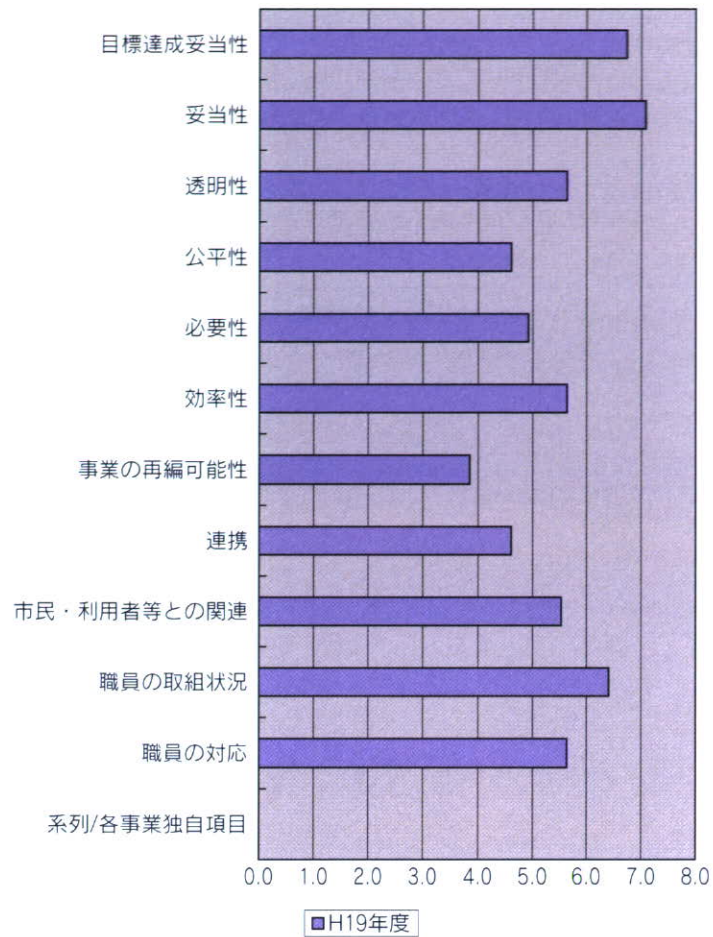
■年度別計画・実績



■年度別合計得点（庁内・利用者）

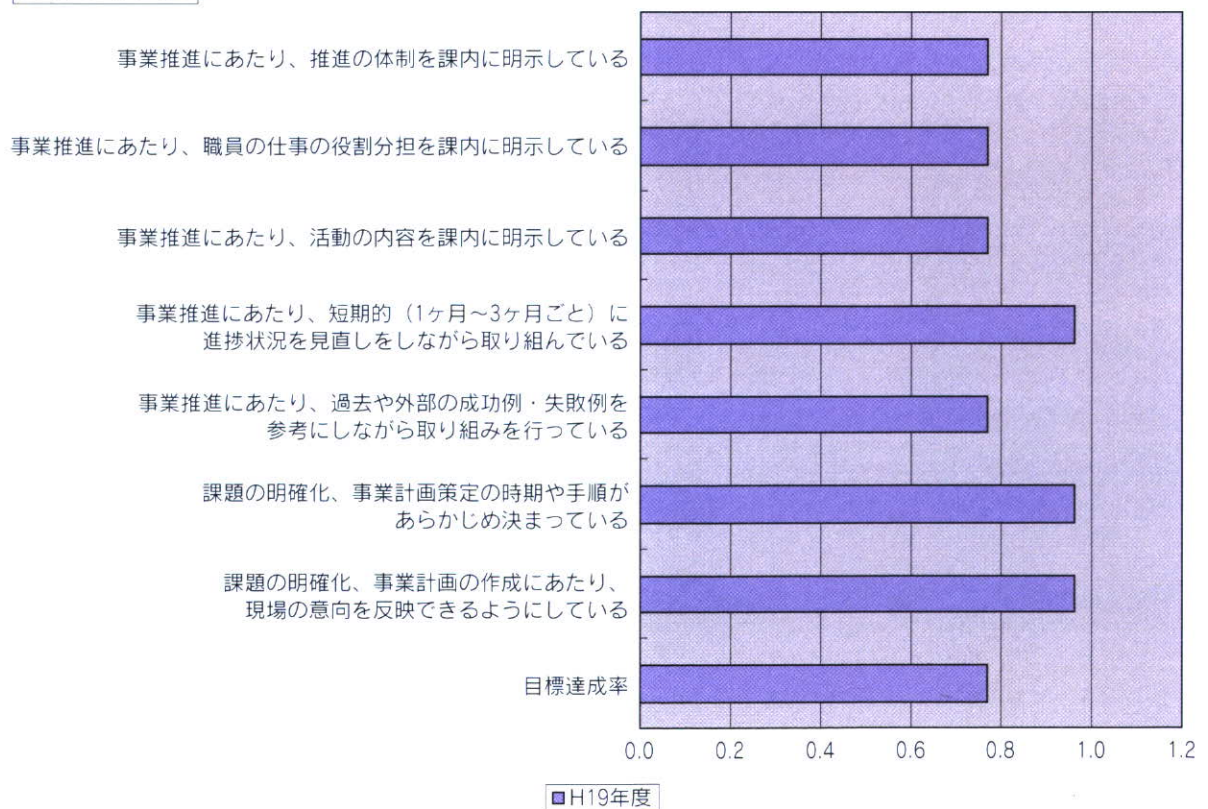
H19年度	72
-------	----

■ 庁内評価 年度・設問区分別得点

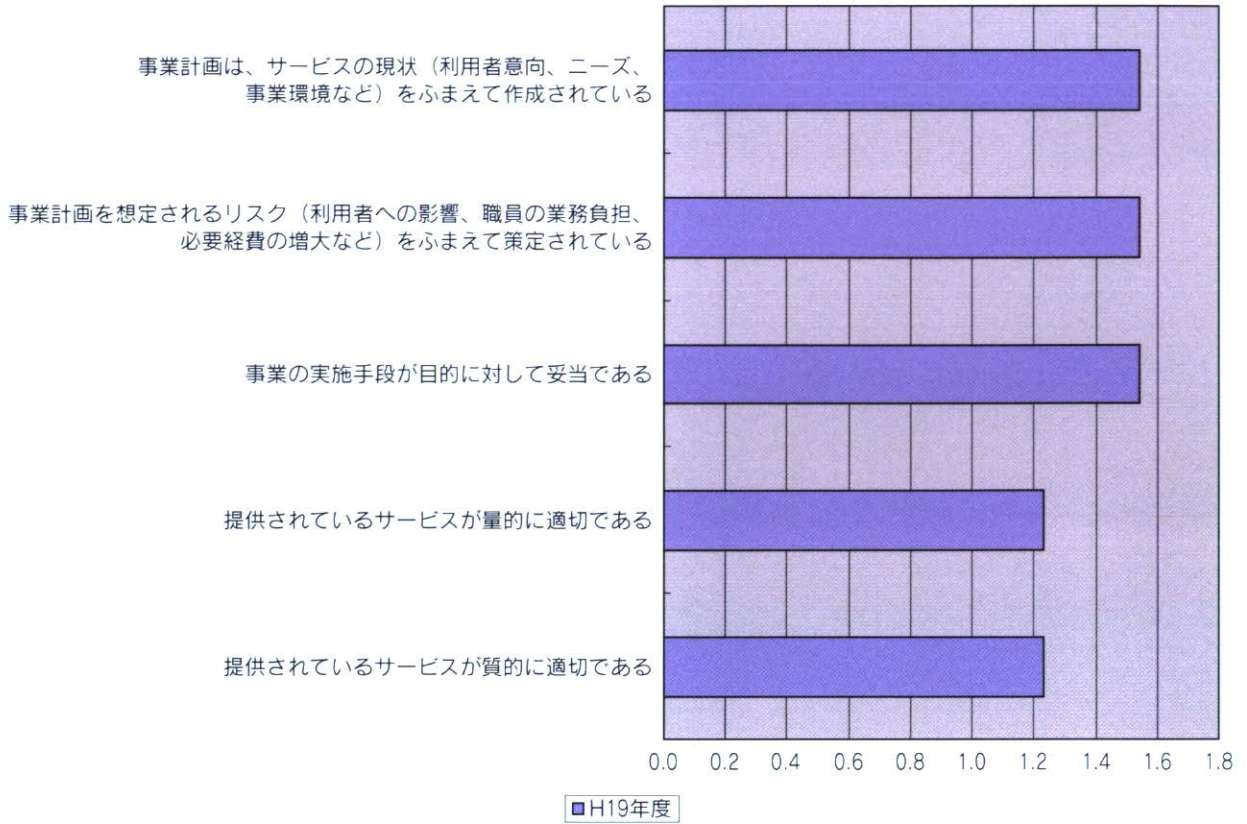


■ 庁内評価 設問区分別 得点内訳

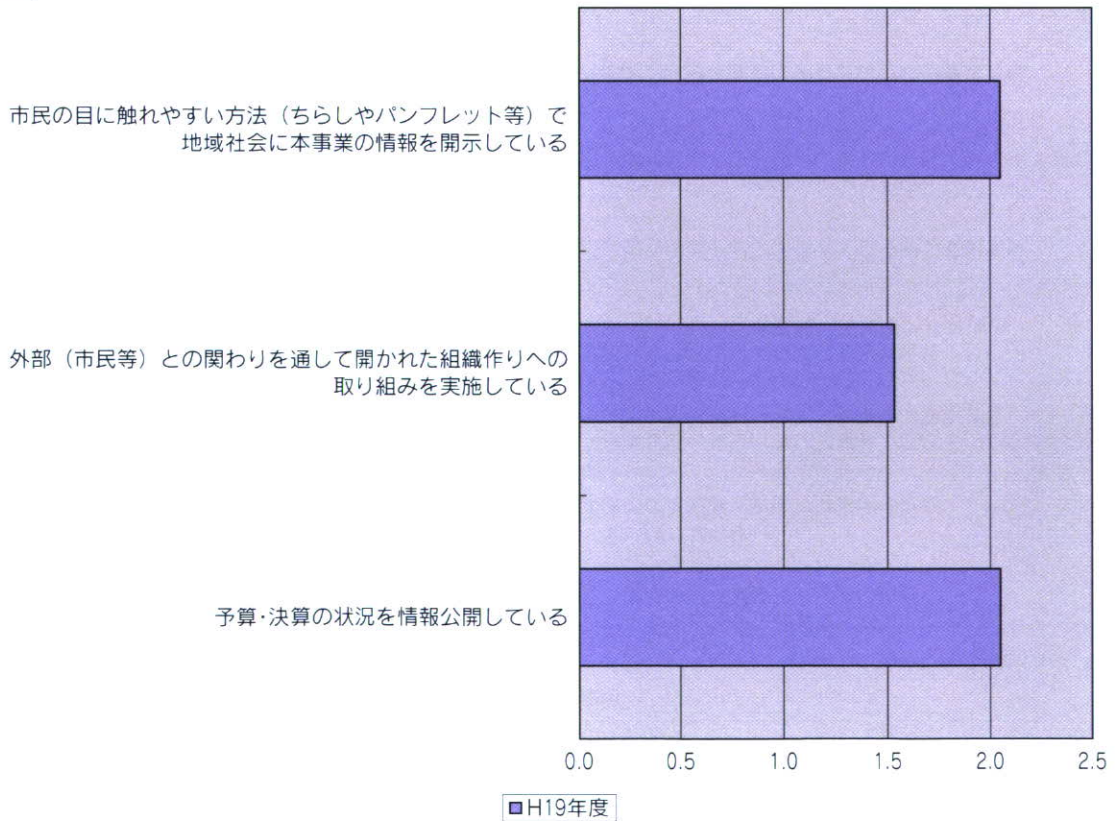
目標達成妥当性



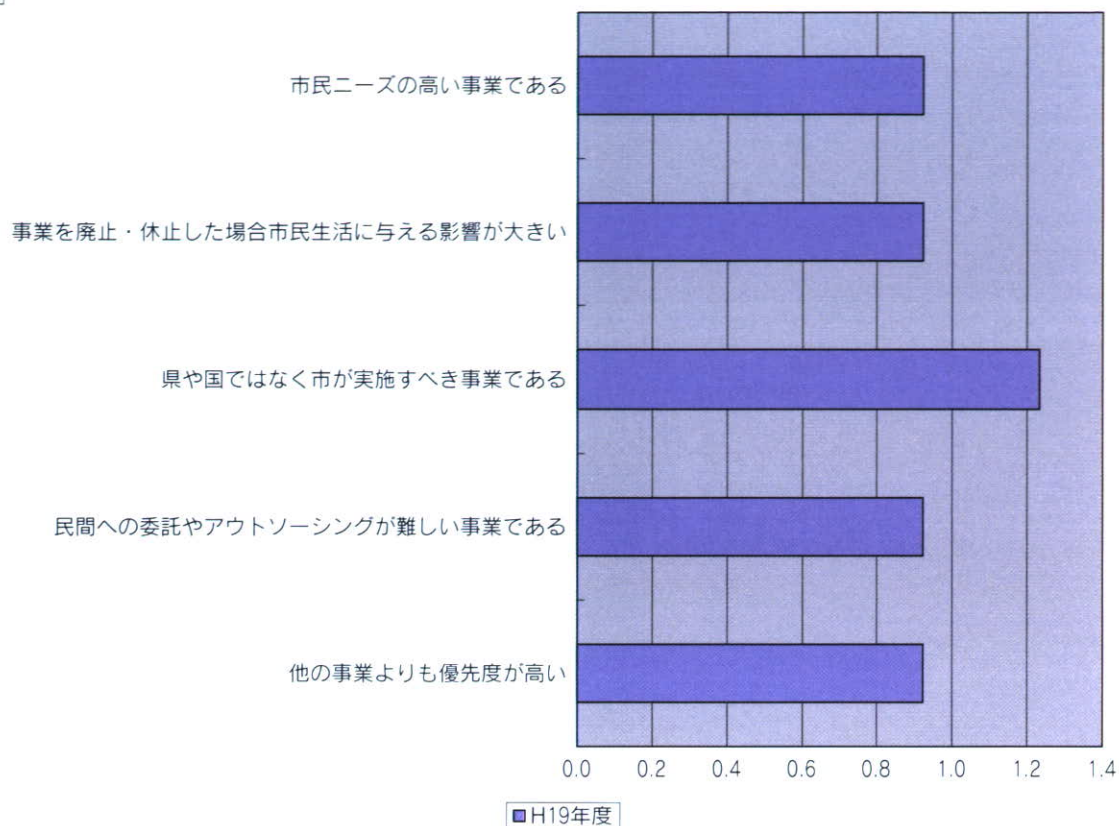
妥当性



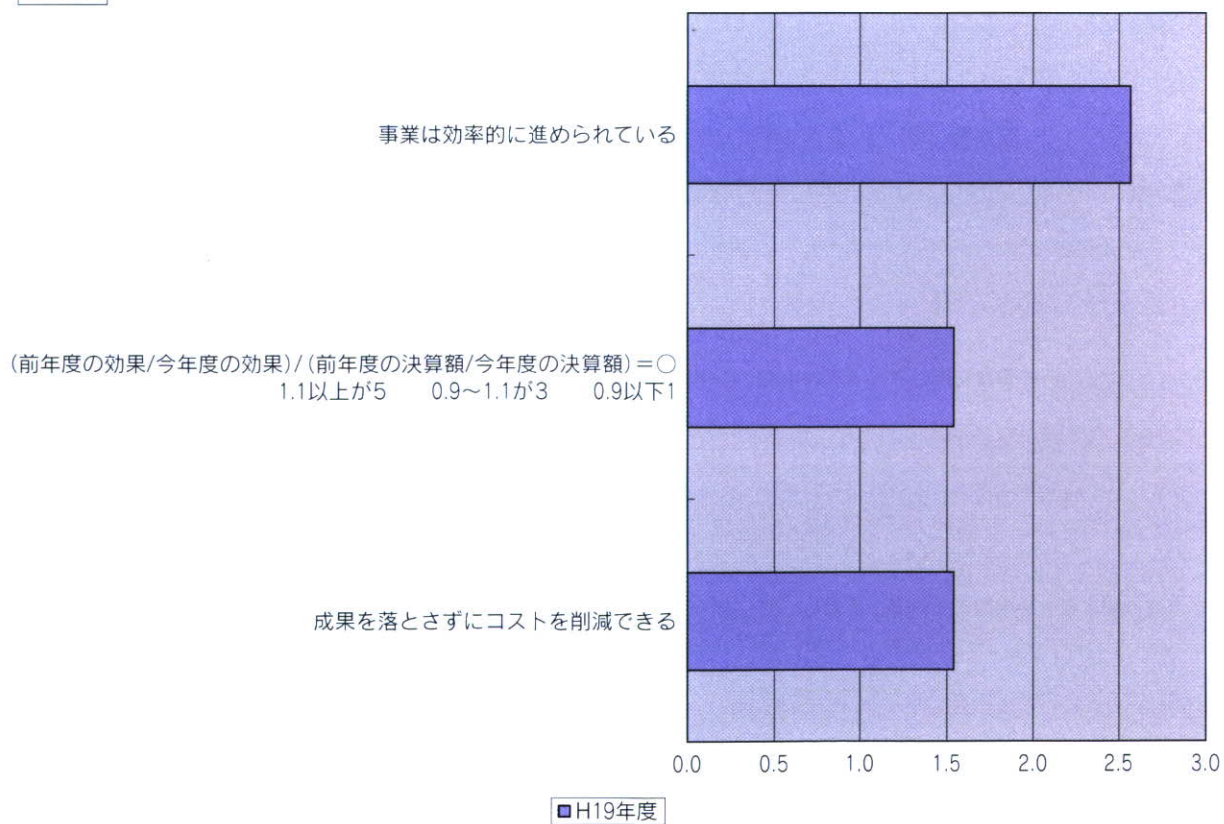
透明性



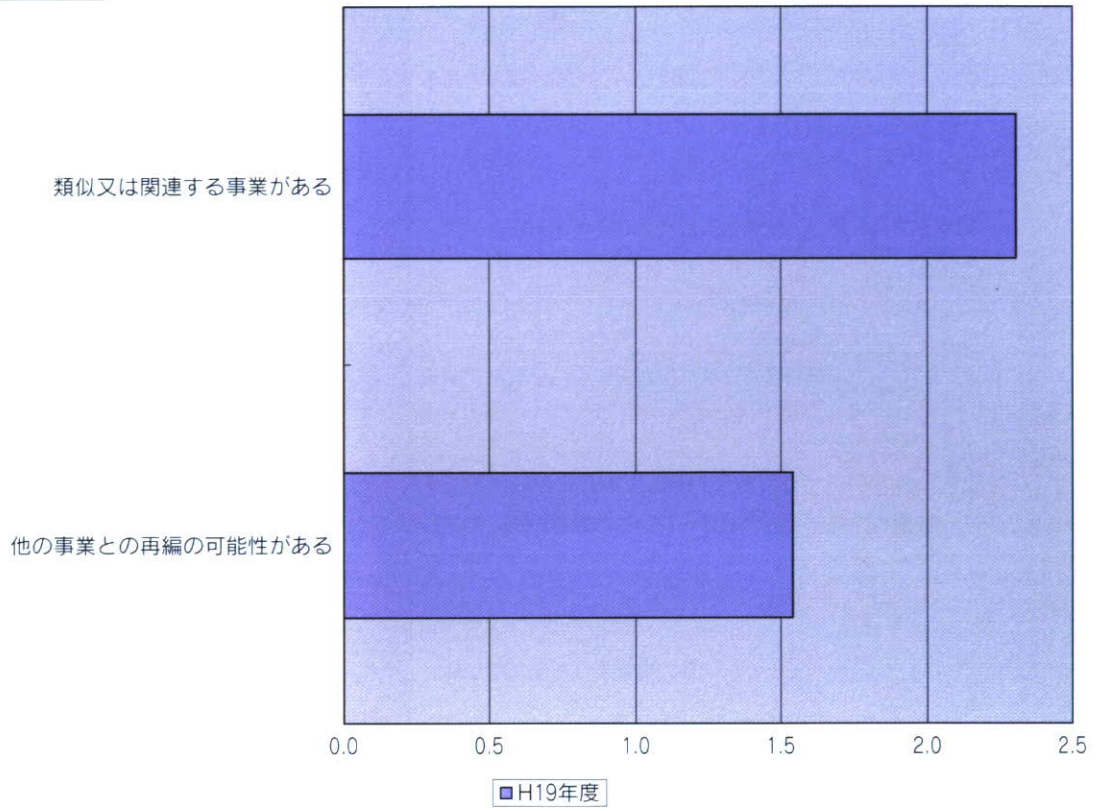
必要性



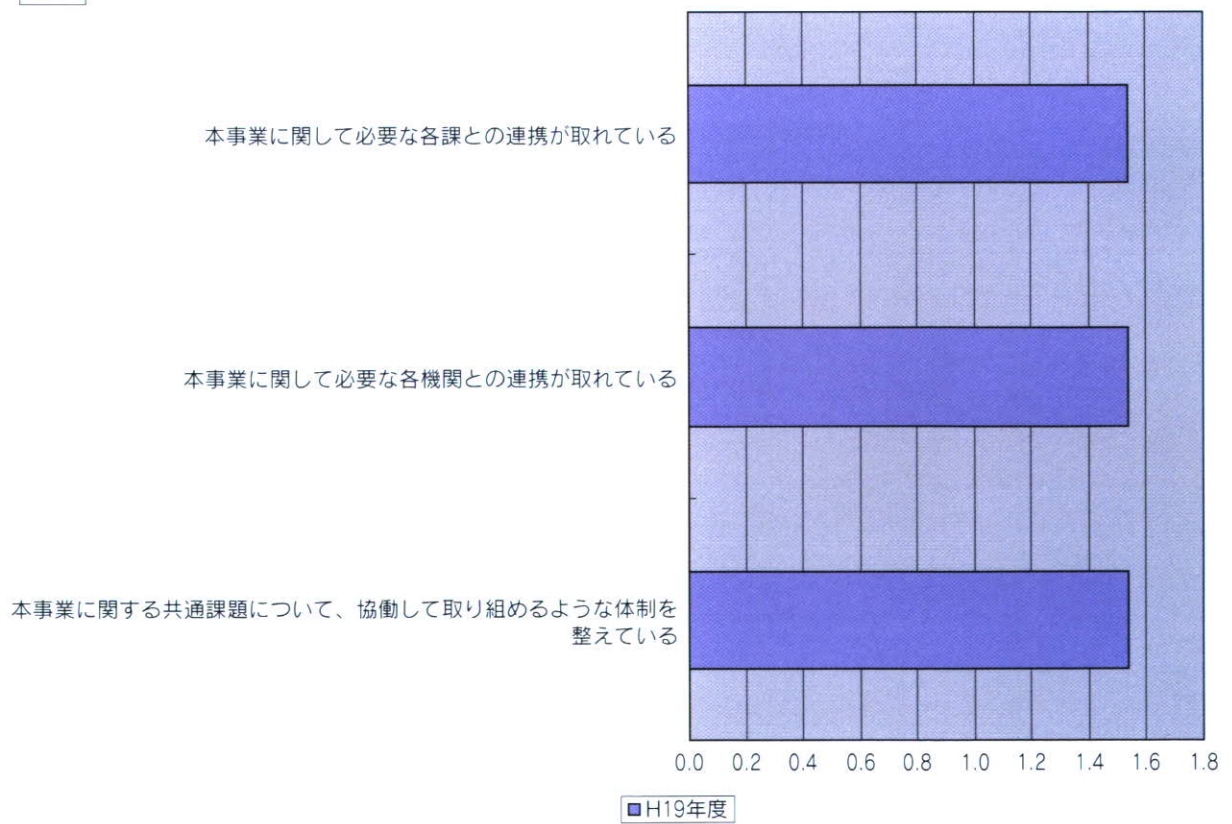
効率性



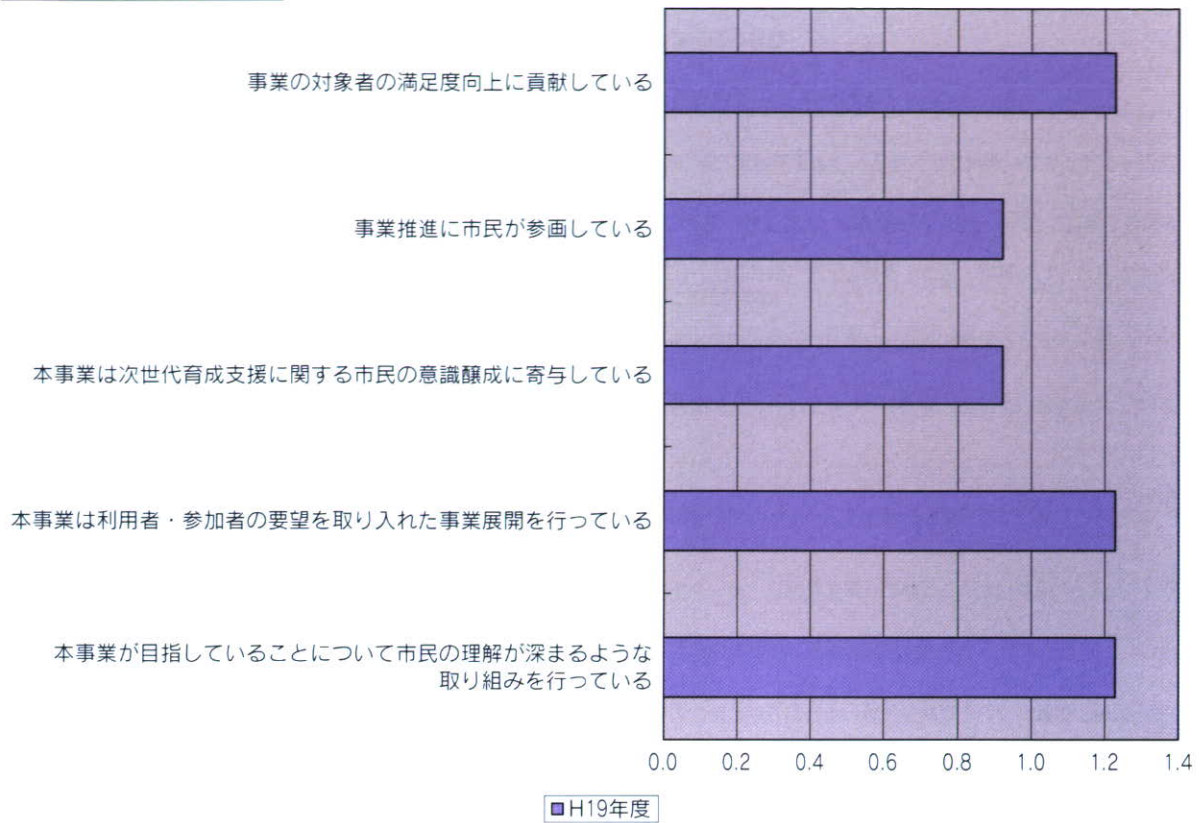
事業の再編可能性



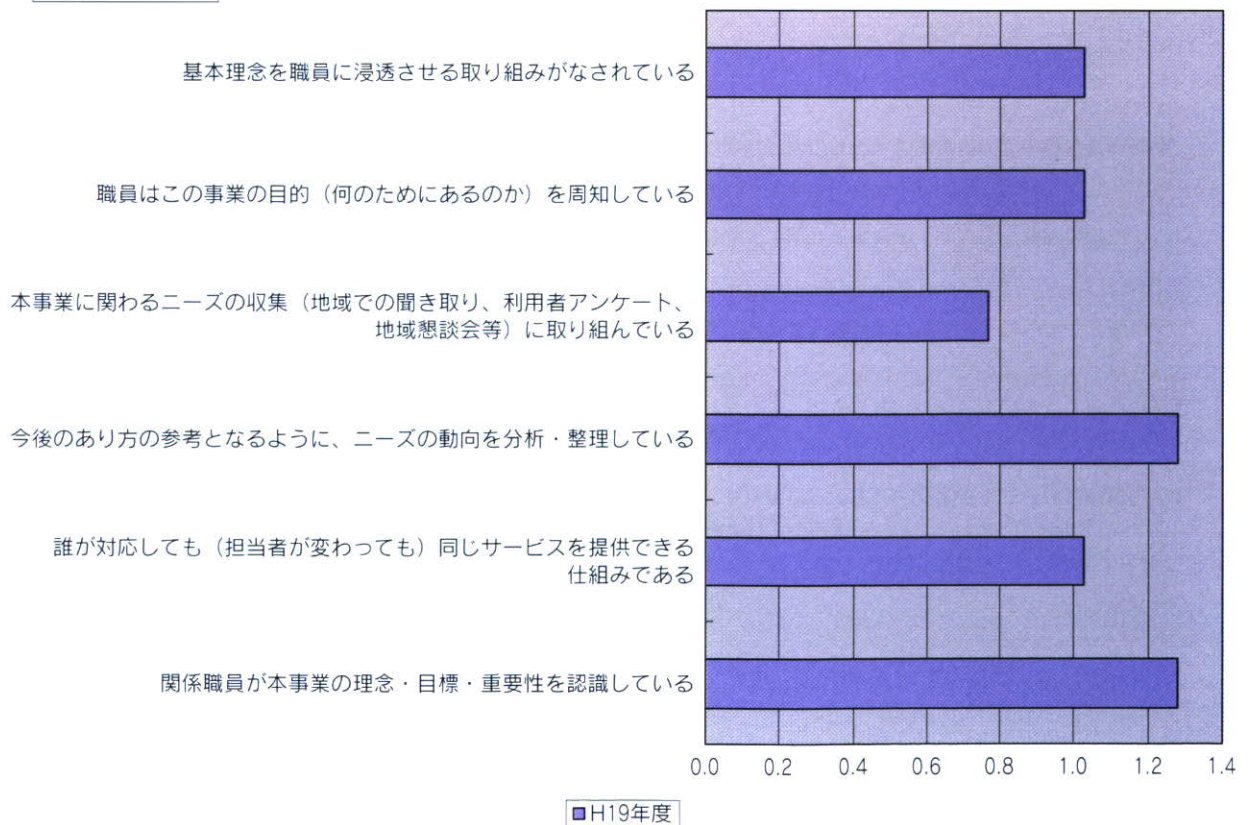
連携



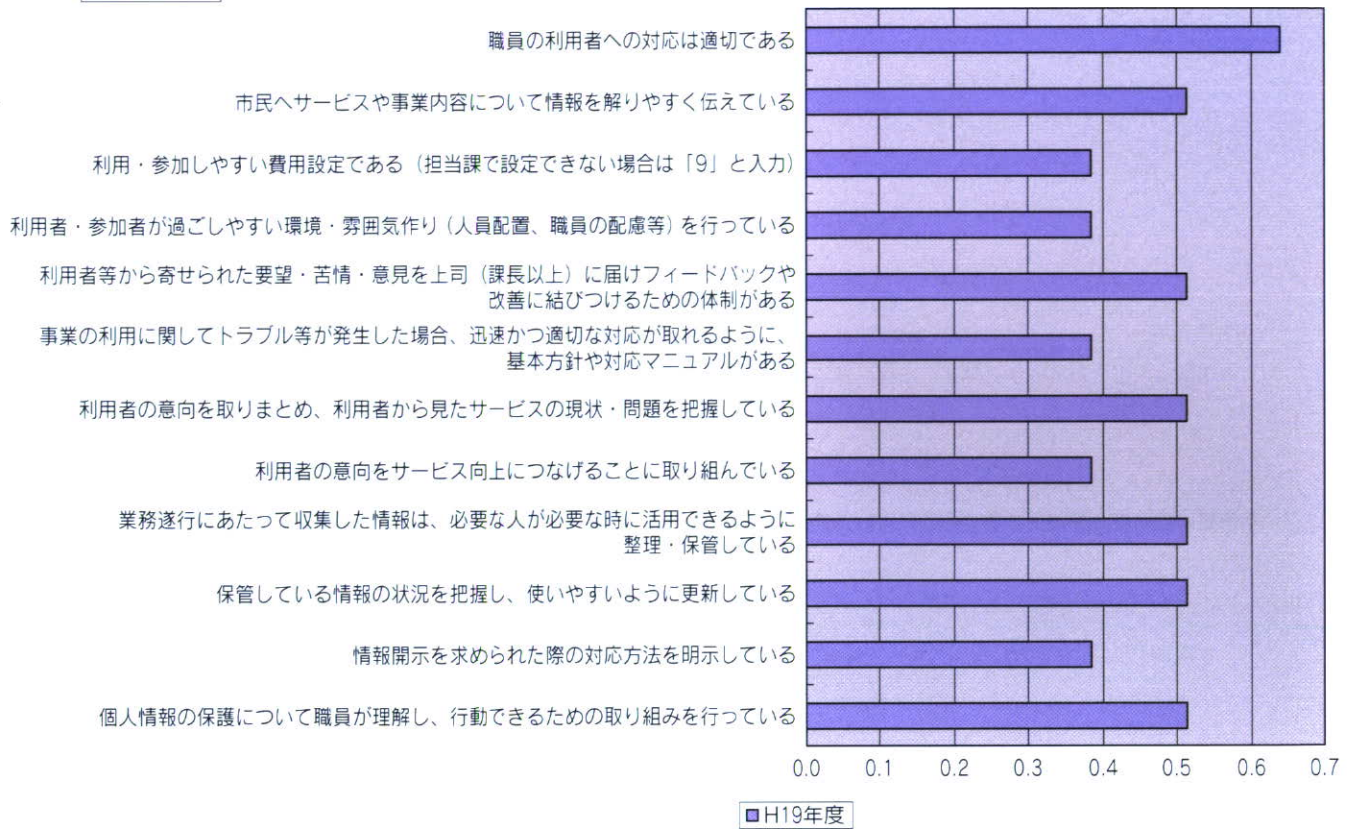
市民・利用者等との関連



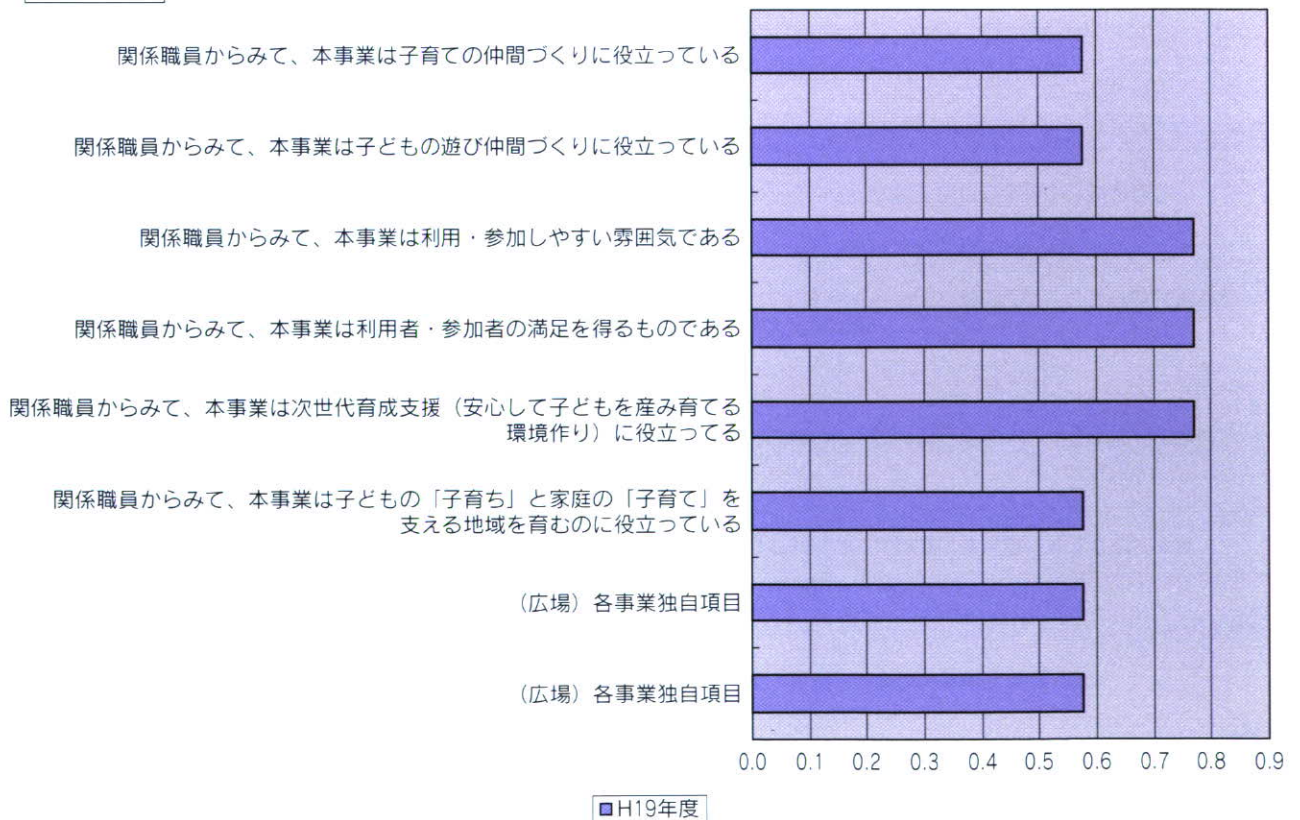
職員の取組状況



職員の対応



職員の対応



■利用者評価回収率

H19年度	配布	100	
	回数	35	35%
	有効回答	7	7%

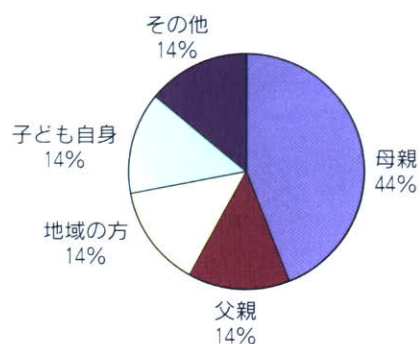
■利用者評価得点

H19年度	73
-------	----

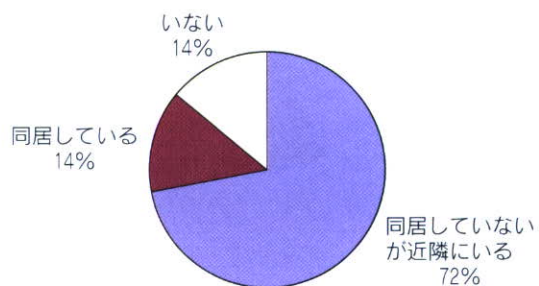
■庁内評価得点

H19年度	72
-------	----

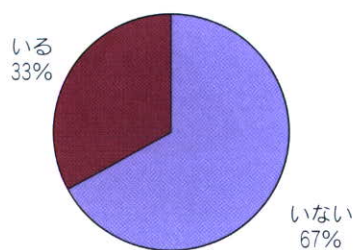
■回答者



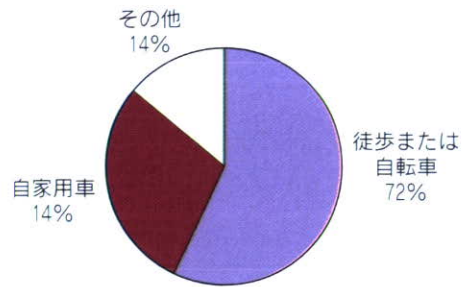
■頼れる親族有無



■相談できる友人・知人

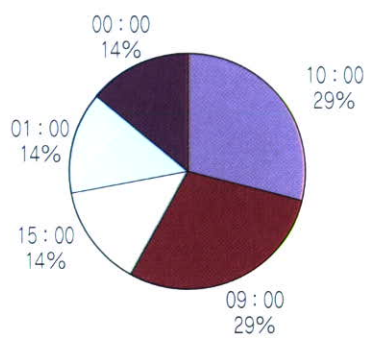


■交通機関

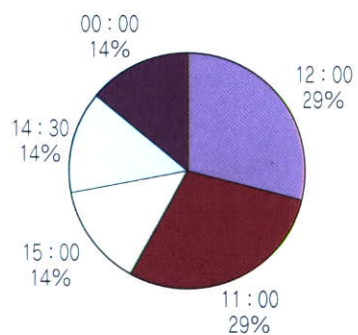


■利用時間帯

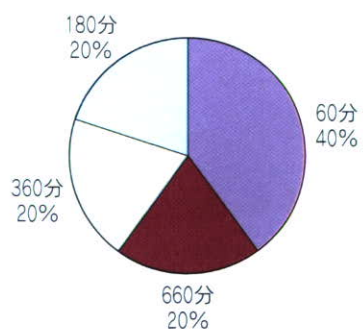
利用開始時間帯



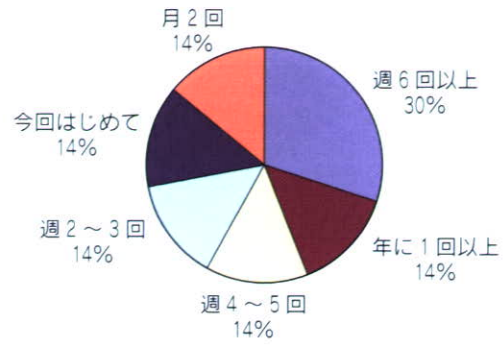
利用終了時間帯



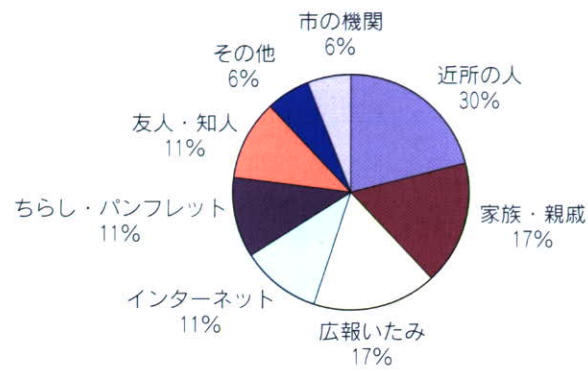
利用時間



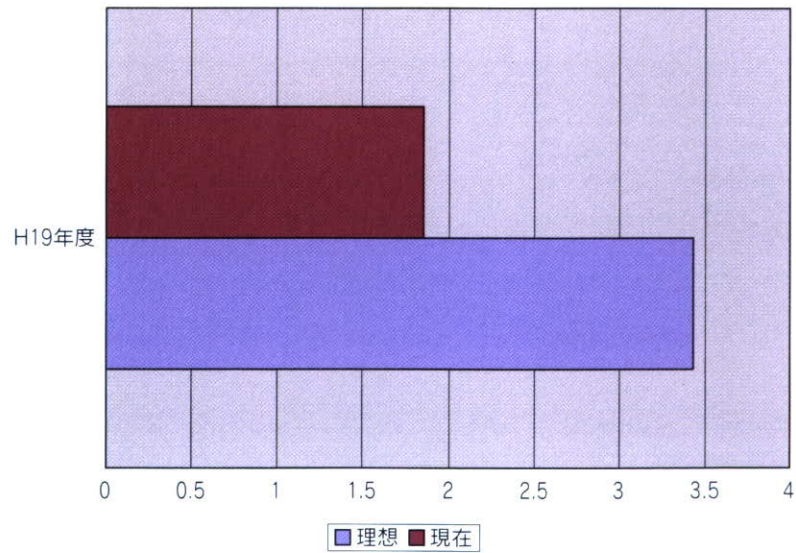
■利用回数



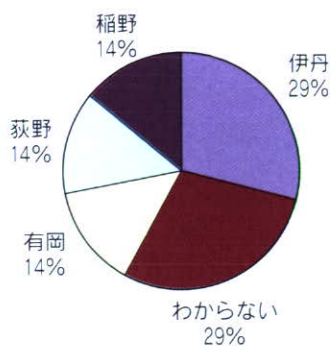
■知ったきっかけ



■子どもの数 (理想・現在)



■小学校区



■利用者コメント

時間の入力が難しい、24時間で入力した方がいい。
その他の部分、一度カーソルを置いてしまうと、何か文字を入れないと先に進めない。
自分の家の近くにもむっくむっくルームを作って欲しい。
①ホームページでもう少し広報して欲しい。

※<全体レポート>のデータは全てあくまでも1サンプルであり、無断での使用を禁止する。

<全体レポート>

次世代育成支援事業

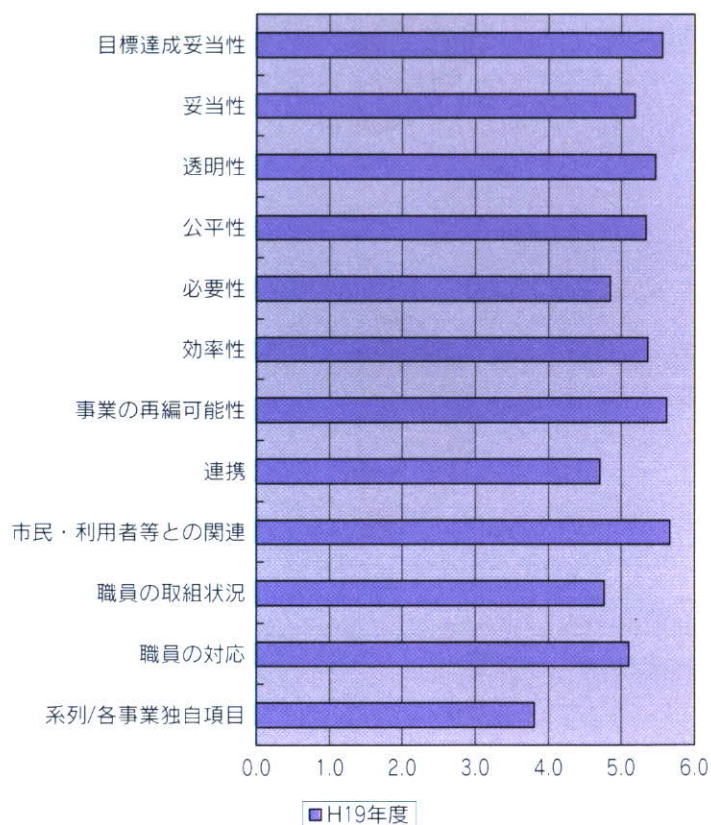
■達成率 5段階評価

H19年度	4
-------	---

■年度別合計得点（庁内・利用者）

H19年度	68
-------	----

■庁内評価 年度・設問区分別得点



■利用者評価回収率

H19年度	配布	1364	
	回数	675	49%
	有効回答	85	6%

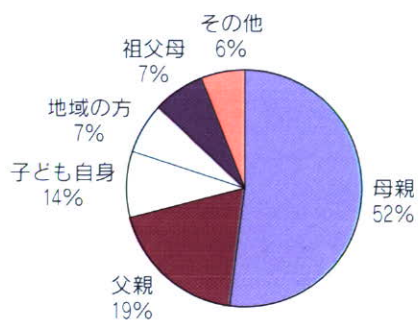
■利用者評価得点

H19年度	69
-------	----

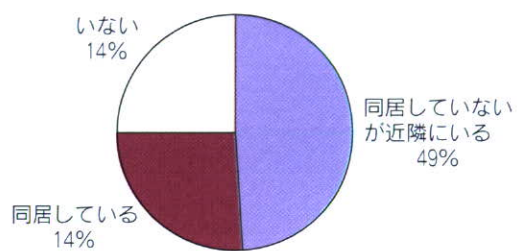
■庁内評価得点

H19年度	67
-------	----

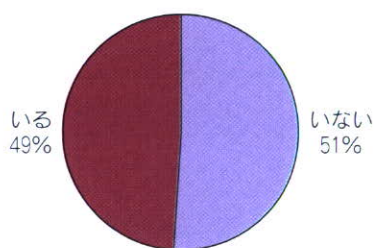
■回答者



■頼れる親族有無



■相談できる友人・知人



■交通機関

